

埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

税の今後の課題

深谷市立藤沢中学校 一年 嶋村 実香

今、日本は少子高齢化という大きな問題を抱えています。その高齢化が原因で「消費税」が導入されたことを、私はつい最近、新聞を読んで知りました。今までは、お店で買い物をするとき何気なく払っていた消費税。一番身近である消費税についてもあまり知らなかったの、そもそも税とは何なのか考えてみました。

税は様々な場面で私たちの生活を支えています。火事に遭ってしまったとき、消防士の方が駆けつけてくれます。同じように、事故が起きてしまったときには救急隊員の方が、事件が起きてしまったときには警察官の方が駆けつけてくれることでしょう。また、私たちの通う学校の校舎や机・椅子、教科書、その他にも理科の実験道具やピアノなども全て税金によって賄われているのです。さらにもう一つ、お年寄りの年金も税金で賄われています。冒頭にも述べたように、少子高齢化が進んでいる日本では、平均寿命がこの三十五年間で十才延びました。しかし出生率は一向に増えないままなのです。このままで私たちに年金は支給されるでしょうか。

高齢化の要因として二〇〇七年問題が挙げられます。団塊の世代が定年で退職するので、そうすると、労働者（納税者）が減少する一方でお年寄り（年金受給者）が増加してしまうので、労働者の納税額を引き上げるなど、何か解決策を講じなければなりません。そこで、いっそ定年制という壁を取り壊してみたらどうでしょう。国から支給される年金は減り、その代わりに所得税は増えます。働くことで社会に貢献していることにお年寄り自身が喜びを感じ、認知症の予防にもつながれば、まさに一石二鳥です。定年後を細々と暮らすのもいいかもしれないけれど、健康なうち、働けるうちに働いてもらえれば社会は豊かになると思います。

少子高齢化以外にも、年々増える公債や未納などの直接税に、そして私たちに関わってくる大切な問題はたくさんあります。返済できる見込みのない公債はやめるべきであり、未納者にはペナルティーを与えるべきだと思います。こういった問題に一人一人が取り組み、将来に向けて解決する必要があるのです。

今、日本は税という大変すばらしい制度があります。税によって安全や生活が守られ、そして学生である私は教育を受けられます。もし税が無かったら、私たちの生活を支える様々な公共サービスが有料になり、負担が大きくなってしまいます。そう、年金ももらえなくなってしまうのです。今回税について考えて、そのありがたさに気付きました。だからこそ、時代の変化に合わせて国民の役に立つ、有効な税の使われ方を期待します。また私も、大人になったら納税者としての意識をもって働き、きちんと納税したいです。それが社会に貢献することなのだから。